

ともに青森を創ろう — 絶対に青森を諦めない。33歳の希望と挑戦 —

おがさわら だいすけ

小笠原 大佑

青森市佃一丁目在住



1989年 6月29日合浦生まれ
1996年 東奥幼稚園 卒園
2002年 青森市立浪打小学校 卒業
2005年 青森市立浪打中学校 卒業
2008年 青森県立青森高等学校 卒業(58回生)
2015年 早稲田大学社会科学部 卒業
2016年 青森県内テレビ局入社

塾講師を経て、現在は青森県内テレビ局員として勤務。幼少期からねぶたに参加。太鼓叩きと笛吹きに加え、14歳から現在にいたるまで化人(バケト)としても毎年参加。部活は小学校から高校まで陸上競技部(主にハードル、やり投げ)。大学のサークルではパントマイムを学び、大道芸フェスティバルにも参加。高校公民の教員免許あり。

3つの希望

未来を担う若者のための希望

- 県独自の奨学金制度の拡充、小中学校の給食費無償化
- 教育環境整備、教員の負担軽減
- 出産・育児の支援や相談体制の拡充、幼老共生社会の実現

経世済民 — 青森経済への希望

- 地元商店街・飲食店等の活性化対策と経済循環の土壌作り
- 新規産業振興・雇用対策の充実、技術継承や価値創造のための人材育成
- 街づくりと文化芸術活動・スポーツ振興の連携

青森を照らすエネルギーへの希望

- 環境破壊をもたらす八甲田山系風力発電に反対
- 地域特性を活かした積雪発電、雪氷熱利用等の再生可能エネルギー推進、新エネルギー産業としての雇用創出

3つの挑戦

青森の農林水産業、郷土を守る挑戦

- 一次産業への所得・雇用保障、後継者不足の解消
- 六次産業化、IoT推進による所得向上と雇用創出
- 気候変動に対応した防災、減災対策の強化

「みんなが当たり前に生きられる青森」への挑戦

- 非正規社員の賃金・男女格差の改善、ジェンダー平等推進
- 医療、介護等の社会福祉の充実、自殺防止対策推進
- 「動物と共に生きる」動物愛護と福祉の推進

「県民の声が届く開かれた政治」への挑戦

- 投票クーポンや移動投票バス推進等による投票率向上施策
- 学生への主権者教育・議員と県民との対話を推進

おがさわら
だいすけ
小笠原
33才
立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan